

【現在の学校・規模のメリット】

- 再編すれば今の良い環境が維持できないのではないか。
- 人数が少ないと手厚く見てもらえる安心感がある。
- クラス替えでいじめが根本解決するものではない。
- クラス替えで力関係が解決しなかった経験がある。
- 人数が少ないということは、学習という側面ではメリットが大きい。
- 油日小学校は平和で非常に良い環境にある。もし統合された場合、環境がどう変化するか不安な面がある。
- 小規模校は、先生に子どもを手厚く見てもらえるという安心感がある。
- 小規模の方がゆとりをもって学習できるのではないか。
- 進学などで次へ進むときに不安を感じるかもしれないが、友だちとつながりながら交友関係は広がっていく。
- 油日は交通は便利なところである。
- 学年の枠を超えた異学年交流は、少人数でも様々な子ども同士の関わりが可能となる。少人数でも多様性を生み出すことはできる。

【再編によるメリット】

- ・子どもの人数が増えると、発想の違いによる多様性が出てくる。子ども同士の学び合いの機会が増加する。
- ・イジメがあった場合、クラス替えをするなどの手法が大規模校ではできる。複数の学級があることが重要で、イジメの解決方法も多様になる。
- ・いじめの解決に向け取り組んでいるが、どうしても解決できない場合のシェルターとしてクラス替えはできたほうが良い。
- ・クラス替えはグループ内での力関係のプレッシャーを緩めることができる。
- ・小さい時から多様に触れることで、中学生になった時のギャップを乗り越える力もつく。
- ・大規模校では子ども同士の関わりが多くなり、子どものコミュニティの中での学びや解決方法の模索などの機会が頻繁になるというメリットが大きい。

【その他】

- ◇少ないのは少ないなりのメリット、多いのは多いなりのメリットがある。
- ◇規模よりも教師の熱意・質が重要。
- ◇甲賀の3小学校はそれぞれに特色がある。合併したら、その特色はどうなるのか。
- ◇複式になるほどの人数になったときには考える必要がある。
- ◇いじめ、不登校、学力不振のため、何とかしてほしいという要望は地元からはない。
- ◇親としては、今の環境に一番関心があるが、将来どうなっていくかについても不安がある。
- ◇油日小学校は30人学級だが、算数などは先生が2名入って、15名ずつで教えてくれている。大規模校になったとしても、手厚く指導してもらえるのが理想である。
- ◇人間関係の問題は、人数とは無関係。
- ◇学力の向上については、冷暖房完備など環境整備が大事。